



楽譜が読めなくても弾けるのが魅力です

華やかさと哀愁が入り混じる独特的の音色が魅力の大正琴。琴城流大正琴「河北教室」では、秋の「かほく文化祭」などの舞台を目指し、地域住民6人が和気あいあいと練習に励んでいます。

講師を務めるのは、市内外指導歴の長い鈴木一夫さん。月2回、河北総合センター「ビッグバン」に60~80代の女性たちが集まります。

大正琴はピアノと同じ配列の鍵盤を左手で押さえ、右手のピックで弦を弾く楽器。五線譜ではなく数字を用いた専用楽譜を使うため、「音符が読めなくとも安心して始められる」と初心者にも好評です。

代表の佐藤裕子さんは「おしゃべりしながら練習する時間も元気の源。私たちの演奏をぜひ聴きに来てください」と笑顔で呼びかけます。また、現在会員を募集中で、琴の演奏経験が無い方も大歓迎のことです。

サークル仲間⁽¹⁶⁾

琴城流大正琴「河北教室」

響け大正琴、広がる交流の輪

みんなのな場

洋子さんは「皆で音がぴたりと重なる瞬間が何よりうれしい」と合奏の醍醐味を話します。

年2~3回程度発表の機会があり、3月29日(日)には

ビッグバンのステージに上ります。「時の流れに身をまかせ」や「真赤な太陽」など

を演奏予定で、桜が咲く季節に間に合うよう、組曲からJAPAN「春」を仕上げるつもりです。

さりり☆まさっこ²⁴

いつか世界陸上の舞台に

やまと けいしろう
大和 恵士郎さん(雄勝中学校2年)

両親の影響もあって、市内のクラブチームで陸上競技に打ち込んでいます。昨秋の県中学校新人大会で100mの決勝に進んだことで、県の強化指定選手になりました。

100m11秒89が現状の自己ベスト。足が流れてしまう癖を見直して、もっと上を目指したいです。陸上競技は単純に見えて、やってみると奥が深いのが魅力です。時間をかけて練習を重ね、たった100mという短い距離でタイムを極めていくことにかっこよさを感じています。

昨年、東京へ見に行った「世界陸上」で刺激を受け、いつかあの舞台に立つことが夢になりました。競技は違いますが、大谷翔平選手に肩を並べるくらいの知名度で、日本を代表する陸上選手になりたいです。



市報いしのまき 第331号 令和8年3月1日発行

発行 石巻市総務部秘書広報課 ☎0225-95-1111 FAX23-4340
〒986-8501 宮城県石巻市穀町14-1

編集/制作 (株)石巻日日新聞社
古紙パルプ配合の再生紙と環境に優しい植物油インキを使用しています。再生紙としてリサイクルできます。「ざつがみ類」として分別してください。

住民基本台帳による石巻市的人口と世帯数(前年比)

令和8年1月末現在	人口 129,947人 (▲2,292) 世帯数 62,390世帯 (▲65)
-----------	--------------------------------------------